

光、風、音、動線

都市に暮らすご家族のために、あらゆる角度から考察を重ねて。

さまざまな立場・視点に立ち、あらゆる可能性を突き詰めること。

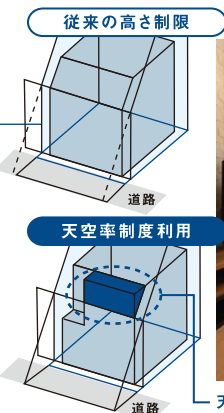
理想的な住まいの空間設計とは、そのようなスティックな姿勢から生まれるものだと、トーシン不動産販売は考えています。

都市型住宅はどうあるべきかという問いに対し、わたしたちが導き出した答えとして、これまでに手掛けた参考設計プランをご紹介します。

限られた空間に、豊かな開放感を生み出す。

「タテの広がり」を生む、巧みな空間設計。

ヨコの広がりには限りがあるなら、タテに広がり求められないだろうか。そんな発想の産物が、ロフト・吹抜け・小屋裏収納です。トーシン不動産販売は、高さ制限を緩和する「天空率制度」を巧みに活用し、都市型住宅ならではの広がり追求しています。



天空率制度利用による、タテの広がりを工夫。

ゆとりをもってすれ違える、1,100mm以上の「廊下幅」。

ストレスなくすれ違えるよう、動線が集中する1階廊下にはゆとりある「廊下幅」を設計。都市型住宅では910mm以上が一般的とされているのに対し、トーシン不動産販売は1,100mm以上の確保を理想としています。



当社施工例



緻密な検証から生まれる、効率のよい「窓」。

窓の設計は、都市型住宅においてもっとも重要な要素のひとつ。敷地の形状や方角、隣接建物による影響などを検証し、「どこに」「どんな」「どれくらいの大きさの」窓をつくれば、採光・通風・プライバシー性に優れた住空間となるかを考えます。



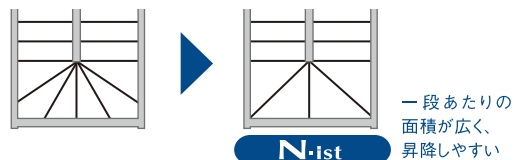
当社施工例

「ストリップ階段」で、視界に広がり。

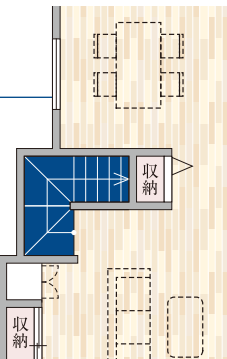
玄関や廊下など、住まいの中でも特に限られた空間には「ストリップ階段」を採用。側壁（蹴込板）があることによる圧迫感をなくし、ご家族はもちろん訪れたゲストの視界にも、のびやかな広がりを演出します。

安全性とスムーズさを追求した「回り階段」。

安全かつスムーズにフロア間を移動できるよう、回り階段の「段数」を少なくし、一段あたりの面積を広く確保。場合により、踊り場付き階段を仕込んでいます。



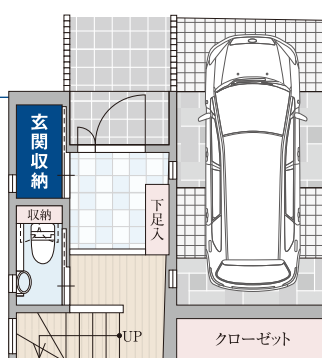
一段あたりの面積が広く、昇降しやすい



「収納」を充実させ、面積以上の広がり。

使い勝手に考慮し、適材適所な「収納」を設計。すっきりと片付けやすく、面積以上の広がりを感じられる住空間を追求しています。

ゴルフバッグやベビーカーも収納できる、ゆとりとした玄関収納。住まいの顔をスッキリと印象付けられます。



当社施工例

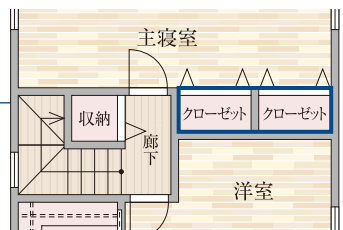
「浴室」「トイレ」は、居室と離れた位置に。

プライバシー性を大切にすべき「浴室」「トイレ」は、リビングや洋室といった居室とは離れた位置にレイアウト。面積に余裕がない場合は、手洗い室を設けるなどし、壁一枚で隣り合うことをできるだけ避けています。



「クローゼット」は、生活音の緩衝装置として。

間仕切り壁に沿って「クローゼット」を仕つけ、隣り合う居室からの生活音の漏れを低減。ご家族間でのプライバシー保護にも配慮しています。



当社施工例

毎月お届けしている「トーシン不動産販売のこだわり」がWEBでもご覧いただけます

A 「トーシン不動産販売のこだわり」シリーズ公開中
TOP画面から「見えないこだわり・見えるこだわり」ページへ!

トーシン不動産 検索
http://www.toshin-f.co.jp

B TOP画面から「資料請求」もしていただけます!

会社案内・事例集・分譲中物件の最新資料等をお送りいたします